

2023年（令和5年）



～干支縁起～

卯年相場と卯年あれこれ



う[卯]

- ① 十二支の第4番目
- ② 卯の方角は東
- ③ 卯の刻は現在の午前6時頃の前後2時間

岡三証券株式会社

目次

1. 干支における卯	1
2. 卯年の株式市場	2
3. 卯年の過去のできごと	6
4. 卯年生まれの主な有名人	7
5. 卯年生まれあれこれ	7
6. 卯・兔に関する用語・ことわざ	8
7. 卯・兔にまつわる神社・作品・昔話	10
8. 笑門来福、新年にちなんだ落語	16

1. 干支における卯

2023年（令和5年）の干支は「卯（う）」。「卯」は十二支の第4番目の干支にあたる。

干支は、正式には「十二支」と「十干（じっかん：甲、乙、丙、丁、戊、己、庚、辛、壬、癸）」の組み合わせで表され、2023年は「癸卯（みずのと・う）」である。陰陽五行説によると、十干の「癸」は陰の水、十二支の「卯」は陰の木で、癸卯は「水生木（すいしょうもく）」の“相生（そうしょう）”と呼ばれる良い組み合わせである。「卯」の本来の読みは「ぼう」。「冒（おかす）」「茂（しげる）」と同系の語で、草木が地面を蔽うようになった状態を表すとされる。十二支では、覚え易くするために動物の名前「兎（ウサギ）」が割り当てられた。

日本では、各地の縄文時代の貝塚からウサギの骨が出土することや、「古事記」の記述にも登場することから、人とウサギの関係性はかなり古くから存在していたと考えられている。比較的安安全に獲れる狩猟対象で、食用や毛皮は服飾用として利用されてきた。現代では「ネザーランド・ドワーフ」や「ロップイヤー」など海外種もペットとしての人気が高い。一方、積雪地帯に棲み冬に白毛に生え変わる在来種「ニホンノウサギ」は日本固有種であるほか、絶滅危惧種で国の特別天然記念物「アマミノクロウサギ」は奄美群島の一部のみに生息している。

ウサギは生息域が広く、人の目にもふれやすいため、擬人化されて童話や説話のモチーフとして使われている。親しみやすく、マスコットやシンボルマークにウサギを使用する企業も多い。

日本の昔話では「因幡の白うさぎ」や「ウサギとカメ」、「かちかち山」などが有名である。また、月面の模様が“餅つきをするウサギ”に見えることから、ウサギが月に住むという説話がある。空腹の老人に姿を変えた帝釈天に自らの身を差し出し、命を落としたウサギに対し、「捨身慈悲、滅私献身」の象徴として月の中にその姿を移したという仏教説話で、献身のシンボルとされている。

卯年は新しい時代の幕開けとなることが多い。歴史を振り返ると、大政奉還（1867年）や日米安全保障条約調印（1951年）、国鉄分割・JRグループ発足（1987年）、単一通貨ユーロ導入（1999年）などがある。株式市場では、財テクブーム（1987年）による株式人気や、インターネット・携帯電話の爆発的な普及を背景にITバブル（1999年）を経験した。卯年は総じて堅調な相場が多いようだ。

2022（寅：とら）年はコロナ禍を経て世界的なインフレ・景気減速懸念が高まり、寅年に多いとされる戦争や動乱も勃発した。このように、グローバル化した世界の中で、外部環境の不透明感を抱えたまま新たな年に突入するのだが、2023年は経済活動再開が本格化する日本が先進国の中でも優位性を発揮しそうだ。ウサギは愛らしい外見とは裏腹に、跳躍・スピードにも長けた動物である。株式市場の大きな飛躍を期待したい。

2022年12月 吉日

2. 卯年の株式市場

過去6回の卯年の日経平均株価(※)の騰落状況は4勝2敗で、平均年間騰落率は+16.4%である(右図)。十二支の中では4番目に高いパフォーマンスで、前回(2011年)は東日本大震災の影響もあり、下落率が大きくなったが、それ以外は良好な年が多い。

株式市場と十二支を結び付けた相場格言で

は、「辰巳(たつみ)天井、午(うま)尻下がり、未(ひつじ)辛抱、申酉(さるとり)騒ぐ、戌(いぬ)は笑い、亥(いのしし)固まり、子(ねずみ)は繁盛、丑(うし)つまずき、寅(とら)千里を走り、卯(うさぎ)跳ねる」といわれる。

2022年の日本株相場は、波乱含みで推移する米国株に振り回される場面が多かったが、欧米に比べて遅れてやってきた経済再開への期待から底堅さもみせた。もっとも、レンジ相場が長く続いたことから、寅年の相場格言である「千里を走る(千里を走って帰ってくる≡往って来い)」の展開ともいえる。

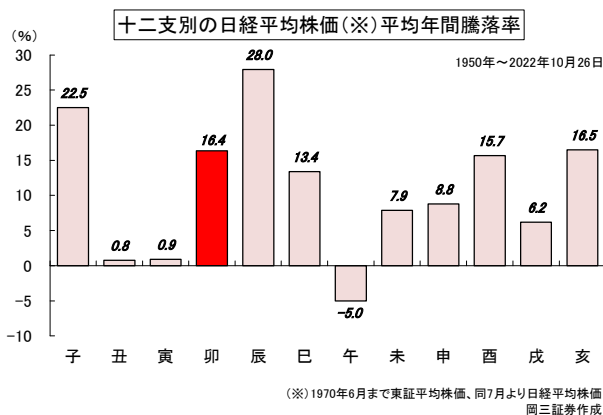
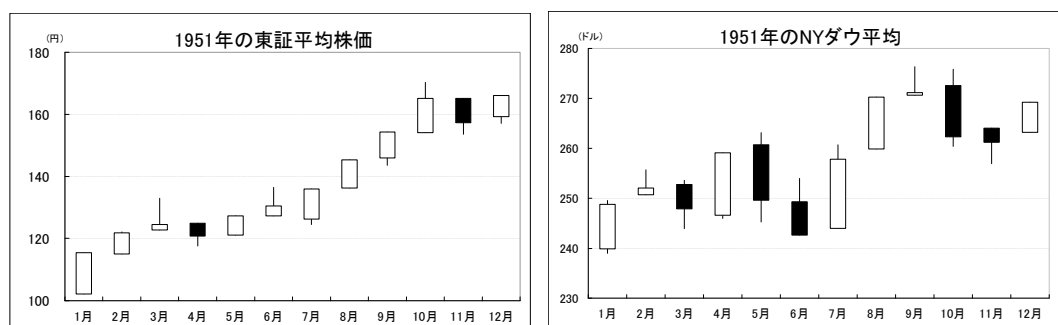
来る2023年は「卯(うさぎ)跳ねる」で、飛躍が期待されるほか、さらに翌年以降には過去の実績では最もパフォーマンスの高かった「辰」や好成績の「巳」が控えており、“黄金の3年間”となる。世界的な景気減速懸念は熾るものの、日本株は独自の強気材料を背景に堅調推移が期待される。

以下、過去の卯年の相場を振り返り、今後の相場を考える上での参考としたい。

【1951年(昭和26年・辛卯 かのと・う)の東証平均株価】

前年6月に戦乱の火ぶたが切られた朝鮮動乱をきっかけに株式ブームが到来。極東の国連軍用の資材調達による特需や、各国の軍備拡張機運を背景にした輸出景気で、第2次世界大戦で疲弊していた日本経済は息を吹き返した。株式市場も活況となり、東証平均株価は10月に170円台まで上昇し、高値圏で年末を迎えた。

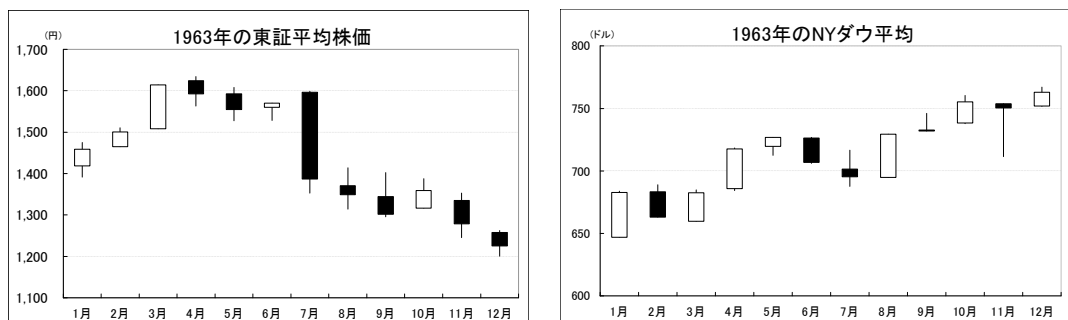
年末の東証平均は166.06円と前年末比62.9%の上昇、東証1部の時価総額は2,569億円と同52.1%の増加であった。



【1963年（昭和38年・癸卯 みずのと・う）の東証平均株価】

前半は低金利政策による利回り採算買い人気が台頭し、鉄鋼・重電・造船など基幹産業株を中心に上伸した。後半は急増した日証金融資産残高、投資信託の解約増加、米国のドル防衛策としての金利平衡税法案など内外要因の悪化が重なり、7月を境に市況は急速に悪化した。

年末の東証平均株価は1,225.10円と前年末比13.8%の下落、東証1部の時価総額は6兆6,694億円と同0.5%の減少であった。

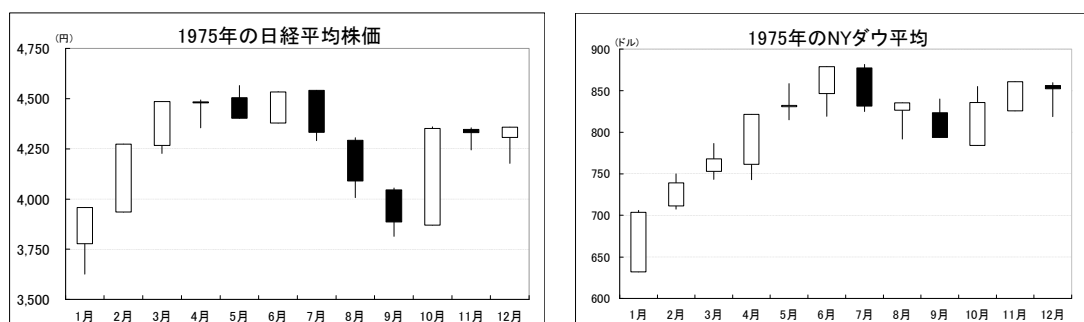


【1975年（昭和50年・乙卯 きのと・う）の日経平均株価】

年初は、一部企業の資金繰り不安やソニーの一時帰休制など不況の表面化により低調に推移した。しかし、1月半ばには早期金融緩和期待を背景に商社、建設、自動車株中心の物色買いが強まり、3月上旬まで含み資産株や電機株などが続伸した。4～6月には信用取引買い残の増加などの足かせはあったものの、相次ぐ不況対策発表、公定歩合の引き下げ、世界同時株高などを背景に株価は上昇ピッチを速めた。

しかし、7月に入って雇用状況の悪化、景気底割れ懸念の台頭によって先駆した電機、建設株などを中心に売り込まれた。8月には六価クロム公害の表面化、キヤノンの無配転落など悪材料が相次ぎ、業績不振銘柄が大きく値を下げた。さらに興人の経営破綻を契機に下げ足が加速した。9月下旬にはOPECの原油価格の10%引き上げ決定から下押ししたが、10月に入ると4回にわたる不況対策の効果が表れ始めたうえに、世界的な株高、米国景気の回復、信用取引の買い残の大幅減少などを受けて株価は回復した。年末には安宅産、永大産など業績不振株が売られたが、全般は堅調に推移した。

年末の日経平均株価は4,358.60円で前年末比14.2%の上昇、東証1部の時価総額は41兆4,683億円と同20.5%の増加であった。



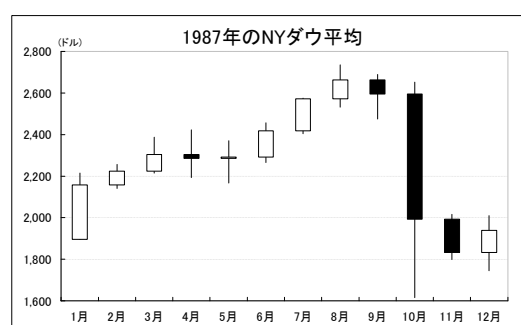
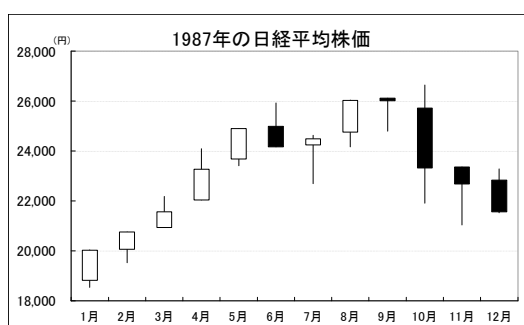
【1987年（昭和62年・丁卯 ひのと・う）の日経平均株価】

年初から金融、電力・ガスなど内需関連株を中心に力強い上昇が続き、1月下旬には東証時価総額が300兆円、日経平均は20,000円の大台に乗せた。2月のNTT株の上場、公定歩合が戦後最低水準となる2.5%へ引き下げられたこと、3月の生損保の特定金銭信託枠拡大などを好感して3月下旬には大商いから立会い時間短縮の活況を呈し、一本調子で上昇。6月上旬に25,000円を突破した。

6月中旬から7月中旬にかけては、原油高・円高の一服から機関投資家の手控えで先駆株が一時反落したが、企業業績の回復を背景に再び上昇し、8月には市況・輸出関連株が賑わい、初の26,000円乗せとなった。その後、もみ合いながら高値を更新し、10月14日には年間最高値を記録した。

10月19日に米国の双子の赤字拡大で市場の不安心理が高まるなか、バーカー米財務長官のドル安容認発言をキッカケにNY株は急落に転じ、これにシステム売買の売りが加速したため、1929年を上回る大暴落（NYダウ平均508ドル安、下落率は史上最大の22.6%）、いわゆる「ブラックマンデー」が発生した。翌20日東証は寄り付きから売り一色、日経平均は3,836円安、下落率14.9%の史上最大の下げを記録した。21日には急騰したが、その後は反落・反騰を繰り返し、11月11日に底を打った後、次第に落ち着きを取り戻した。その間は輸出関連株などの戻り売りにより軟調な地合いが続いたが、年末近くには個人投資家主導で優良株の下値物色の動きにより、株高期待が強まるなかで年末を迎えた。

年末の日経平均株価は21,564.00円で前年末比15.3%の上昇、東証1部の時価総額は325兆4,779億円で同17.5%の増加であった。

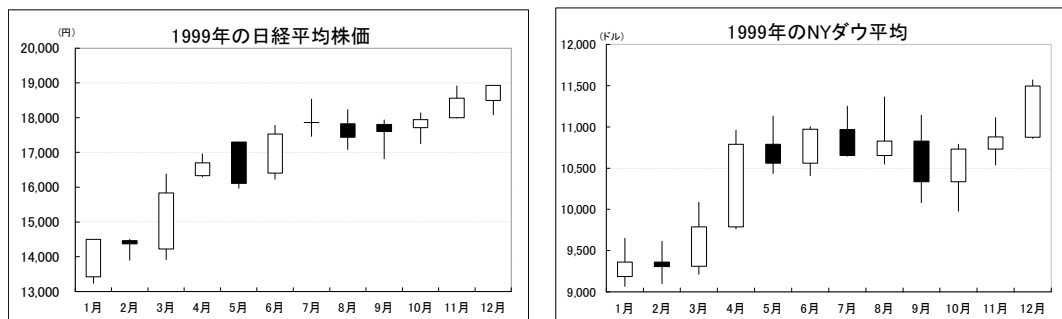


【1999年（平成11年・己卯 つちのと・う）の日経平均株価】

1月は、円相場の急上昇や景気低迷の長期化などの懸念材料が漂い軟調に始まったが、その後は、実質ゼロ金利政策など政府の総合経済対策への期待感から緩やかな回復の兆しが見られた。3月の大手銀行15行への公的資金注入が具体化した頃から5月にかけては、金融安定化策や米国株相場の活況を背景に外国人投資家主導でハイテク・情報通信関連株が物色された。6月に入り、実質国内総生産のプラスによる景気回復への期待感が高まり、外国人や個人投資家の資金が株式市場に流入し、主力の情報通信関連株から内需関連株まで物色対象が広がった。その後は急激な円高・ドル安の進行や米国株相場の先行き不透明感、コンピュータ2000年問題への懸念などを嫌気して模様眺めムードが強まった。12月半ばには、米国株相場の大幅高を契機に個人投資家や投資

信託の資金が流入してハイテク・情報通信関連株を中心に物色された。翌年に希望をつなぐ形で終わった。

年末の日経平均株価は 18,934.34 円で前年末比 36.8%の上昇、東証 1 部の時価総額は 442 兆 4,433 億円で同 65.2%の増加であった。

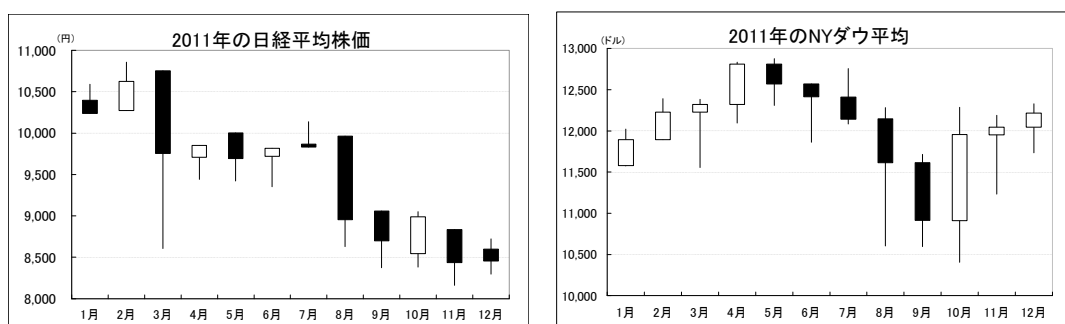


【2011年（平成23年・辛卯 かのと・う）の日経平均株価】

年初は米国景気の回復期待から 2 月に高値（10,857 円）をつけるなど堅調にスタートしたが、東日本大震災で状況は一変。震災直後の 3 月 14 日に日経平均は 633 円下落し、福島原発事故への警戒から翌 15 日には 1,000 円を超える下げ幅となった。

その後、夏にかけては海外投資家の買いで落ち着きを取り戻したかにみえたが、8 月の米国価格下げや、ギリシャ債務問題など世界景気の減速懸念が強まり、日本株相場は再び調整局面に入った。1 ドル=70 円台の超円高も重しとなり、軟調推移のまま年末を迎えた。

年末の日経平均株価は 8,455.35 円で前年末比 17.3%の下落、東証 1 部の時価総額は 251 兆 3,957 億円で同 17.8%の減少であった。



グラフ・データ出所：日経平均プロフィール、QUICK 日経平均株価は終値ベース、NY ダウ平均はザラバベース 作成：岡三証券

※「東証平均株価」と「日経平均株価」について

1950 年 9 月 7 日に東証平均株価として東証が平均株価の算出を開始し、東証ダウともよばれていたが、1970 年 7 月に日経グループがその算出を引き継ぎ、「日経平均株価」として公表。TOPIX（東証株価指数）とは別指標。

3. 卯年の過去のできごと

1915年 (大正4年)	日本	第1回全国中等学校優勝野球大会	
	世界	イタリア・アヴェッツァーノで大地震	
1927年 (昭和2年)	日本	健康保険法施行	芥川龍之介が自殺
	世界	英国放送協会(BBC)設立	南京事件
1939年 (昭和14年)	日本	国民徴用令公布	東京芝浦電気(東芝)設立
	世界	ノモンハン事件	
1951年 (昭和26年)	日本	日米安全保障条約調印 度量衡法が廃止され、メートル、キログラムを採用 伊豆大島の三原山大爆発 第1回NHK紅白歌合戦放送 力道山デビュー	【流行・生活】カーディガン、ルル(三共)、明治ミルクチョコレート(明治製菓)、ミルキー(不二家)、バイリースオレンジ(アサヒ飲料)、LPレコード(日本コロムビア) 【ベストセラー】「ものの見方について」(笠信太郎) 【高校野球選手権大会】平安(京都)
	世界	リビアがイタリアから独立	
1963年 (昭和38年)	日本	日米初のテレビ中継実験成功 アニメ「鉄腕アトム」放送開始 老人福祉法公布 【流行・生活】パカンスルック、ペープ(フマキラー)、ノンスメル(白元)、コーンフレーク(シスコ)	【流行語】「いいからいいから、気にしない」 【ベストセラー】「危ない会社」(占部郁美) 【レコード大賞】「こんにちは赤ちゃん/梓みちよ」 【高校野球選手権大会】明星(大阪) 【有馬記念】リュウフオーレル(宮本)
	世界	ケネディ大統領暗殺	
1975年 (昭和50年)	日本	第二次ベビーブーム 広島カープがセ・リーグ初優勝 ローソン1号店がオープン 沖縄国際海洋博覧会開幕 田部井淳子が女性として世界初のエベレスト登頂に成功 【流行・生活】ペヤングソース焼きそば(ペヤング)、きのこの山(明治製菓)、黒ひげ危機一発(トミー) 【流行語】「アンタあの娘のなんなのさ」	【レコード大賞】「シクラメンのかほり/布施明」 【ベストセラー】「播磨灘物語 上・中・下」(司馬遼太郎) 【プロゴルフ賞金王】 男子:村上隆(0.39億円) 女子:樋口久子(0.08億円) 【高校野球選手権大会】習志野(千葉) 【有馬記念】イシノアラシ(加賀)
	世界	マイクロソフト設立 ベトナム戦争終結	クアラルンプール事件(日本赤軍が米国大使館占拠)
1987年 (昭和62年)	日本	財テクブーム 利根川進博士、ノーベル医学・生理学賞受賞 東北自動車道が全線開通 国鉄が分割・民営化、JR発足 銀座で1坪1億円を突破 石原裕次郎が死去 【流行・生活】ボディコン、携帯電話(NTT)、アタック(花王)、スーパードライ(アサヒビール)、家庭用自動パン焼き器 【流行語】「朝シャン」「カウチポテト」「花キン」	【レコード大賞】「愚か者/近藤真彦」 【ベストセラー】「サラダ記念日」(俵万智) 【TVドラマ】「男女7人秋物語」 【プロゴルフ賞金王】 男子:デビッド・インシ(0.87億円) 女子:大迫たつ子(0.57億円) 【高校野球選手権大会】PL学園(大阪) 【有馬記念】メジロデュレン(村本)
	世界	ルーブル合意 ブラックマンデー(NY株式市場が大暴落)	大韓航空機爆破事件 世界の人口が50億人突破
1999年 (平成11年)	日本	地域振興券 携帯電話・PHSの電話番号11桁化 ダイエーが26年ぶりにパ・リーグ優勝 ジャイアント馬場死去 【流行・生活】厚底靴、アイボ(ソニー)、ファービー人形、リアップ(大正製薬)、ダンス・ダンス・レボリューション(コナミ) 【流行語】「プッチホン」「リベンジ」 【レコード大賞】「Winter, again/GLAY」	【ベストセラー】「五体不満足」(乙武洋匡) 【TVドラマ】「魔女の条件」 【プロゴルフ賞金王】 男子:尾崎直道(1.38億円) 女子:村口史子(0.67億円) 【高校野球選手権大会】桐生第一(群馬) 【有馬記念】グラスワンダー(的場)
	世界	ユーロ導入	トルコ西部地震
2011年 (平成23年)	日本	東日本大震災 小笠原諸島がユネスコ世界自然遺産に登録 地上デジタル放送に完全移行 FIFA女子ワールドカップで日本優勝 東証が前場の取引時間を30分拡大 【流行・生活】パンケーキ、酔わないウメッシュ 【流行語】「なでしこジャパン」 【レコード大賞】「フライングゲット/AKB48」	【ベストセラー】「謎解きはディナーのあとで」(東川篤哉) 【TVドラマ】「家政婦のミタ」 【プロゴルフ賞金王】 男子:ベ・サンムン(1.51億円) 女子:アン・ソング(1.28億円) 【高校野球選手権大会】日大三(西東京) 【有馬記念】オルフェーヴル(池添)
	世界	ステイプ・ジョブズ死去	ニュージーランドでマグニチュード6.3の地震

各種資料より岡三証券作成

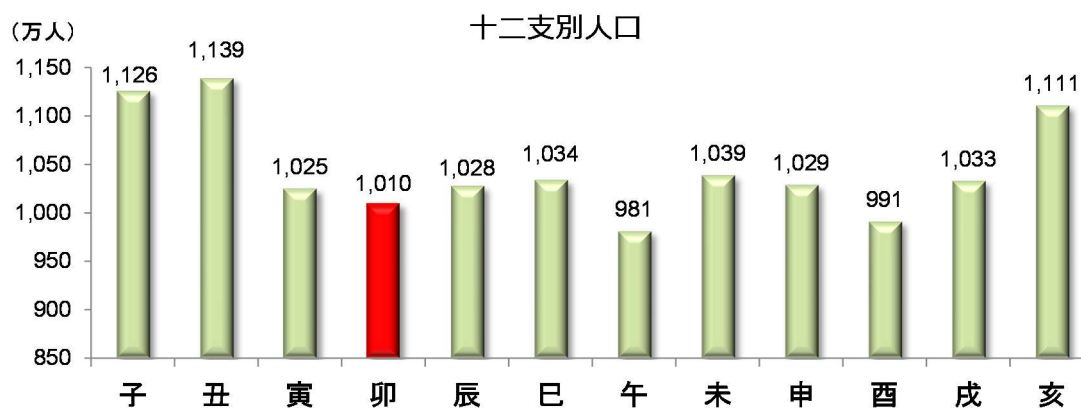
4. 卯年生まれの主な有名人（敬称略）

20世紀以前	1519年 今川義元（1560）、1555年 上杉景勝（1623）、1567年 伊達政宗（1636） 1867年 夏目漱石（1916）、1879年 滝廉太郎（1903）、アルベルト・アインシュタイン（1955）
1927年 （昭和2年）	綿貫民輔、ハリー・ベラフォンテ
1939年 （昭和14年）	五月みどり、佐久間良子、若林豪、森本毅郎、中村玉緒、ちばてつや、コシノジュンコ、平沼赳夫、 フランシス・フォード・ Coppola、利根川進、ティナ・ターナー、水森亜土
1951年 （昭和26年）	中村雅俊、岩城滉一、笑福亭鶴瓶、多岐川裕美、三宅裕司、モト冬樹、山下真司、志垣太郎、桃井かおり、 吉田照美、柴田恭兵、あべ静江、伊勢正三、山本リンダ、もんたよしのり、竹中平蔵、岡本綾子、オール巨人
1963年 （昭和38年）	雅子皇后、松本人志、浜田雅功、立川志らく、唐沢寿明、松重豊、河合奈保子、池井戸潤、木村祐一、 宮根誠司、寺島進、福澤朗、香西かおり、今井美樹、岩井俊二、川合俊一、若田光一、萩生田光一
1975年 （昭和50年）	米倉涼子、神田うの、内田有紀、吉瀬美智子、バカリズム、さかなクン、aiko、上原浩治、膳場貴子、 市川猿之助、伊藤英明、杉山愛、タイガー・ウッズ、デビッド・ベッカム
1987年 （昭和62年）	長澤まさみ、井上真央、渡辺直美、織田信成、LiSA、三浦大知、水卜麻美、桑子真帆、市原隼人、有村智恵、 三田友梨佳、リオネル・メッシ、ノバク・ジョコビッチ
1999年 （平成11年）	橋本環奈、永野芽郁、堀米雄斗、清宮幸太郎

各種資料より岡三証券作成 2022年10月26日現在 カッコ内数字は没年

5. 卯年生まれあれこれ

＜卯年生まれの人口は1,010万人と十二支の中では下から3番目に少ない＞



出所：総務省統計局「統計トピックス No.130（令和3年12月31日）」 ※2022年1月1日現在における推計値 作成：岡三証券

2022年1月1日時点における卯年生まれの人口は1,010万人。総人口1億2,545万人に占める割合は8.0%となっている。総人口を十二支別にみると、丑年生まれが1,139万人で最も多く、子年1,126万人、亥年1,111万人と続く。

6. 卯・兎に関する用語・ことわざ

【兎に祭文】

いくら言い聞かせても理解できず、何も効果がないことの例え。「馬の耳に念仏」と同じ意味。

【兎の登り坂】

得意な分野で実力を発揮すること。条件に恵まれ、物事が順調に進んでいる様。兎は坂を登るのが得意なところからの由来。

【兎の昼寝】

油断して思わぬ失敗を招くこと。イソップ童話「ウサギとカメ」にちなむ。昼寝ばかりしている人の例えにもなる。

【兎の罌に狐がかかる】

予想外の幸運、収穫を得ることの例え。

【兎兵法】

本当の兵法を知らないで、下手な策略を用いて、かえって失敗すること。『因幡の白うさぎ』の故事から。

【兎を見て犬を呼ぶ】

手遅れのたとえでもあり、逆に対策次第でまだ間に合うこともある例え。

【兎を見て鷹を放つ】

事態が差し迫ってから慌てて行動すること。急いだ結果ことを仕損じることの例え。

【卯月八日は花より団子】

4月8日は釈迦の誕生日。花と団子を供えるが実益がある方が喜ばれる。

【卯の時酒は薬】

朝酒は酔心地が良いから薬になる。

【株を守りて兎を待つ】

古い習慣や過去の成功経験にこだわり、進捗や向上がないことの例え。「昔、中国の宋の国の農民が畑仕事をしていると、兎が飛んできて、木の切り株に当たり死んだ。それを拾って以来、農民は畑を耕すのを止めて、切り株の番をするようになった」という中国の故事から。こちらの株は「切り株」です。

【犬兎の争い】

無駄な争いをしている間に第三者に横取りされることの例え。

【狡兎死して走狗烹らる（こうと して そうく にらる）】

大事にしていたものも、必要無くなれば捨てられる例え。獲物の兎が死んでしまえば、猟犬も不要になり食べられるとの意。中国『史記』からの出典。

【獅子は兎を狩るにも全力を尽くす】

優れた人物は、簡単なことでも全力で取り組む例え。

【二兎を追うものは一兎を得ず】

欲を出して同時に二つの物事をしようとすると、どちらも失敗してしまう例え。

【兎波を走る】

月影が水面に映っている様。仏教では、悟りの浅い段階の人。

【脱兎の勢い】

兎が逃げていくような速さ。非常に速いこと。

7. 卯・兎にまつわる神社・作品・昔話

【うさぎに纏わる神社】

○湯倉神社（北海道函館市）：

御祭神は、大己貴神（おおなむちのかみ：大国主命の青年期の名前）と少彦名神（すくなひこなのかみ）と倉稻魂神（うがのみたまのかみ）。「なでうさぎ」と呼ばれる像があり、願い事をしながら撫でるとご利益があるといわれています。

○調（つき）神社（埼玉県さいたま市）：

御祭神は、天照大御神（あまてらすおおみかみ）、豊宇気毘売神（とようけひめのかみ）、素戔嗚尊（すさのおのみこと）。月の使いとしてうさぎが祀られ、安産祈願やツキを呼ぶご利益があるといわれます。鳥居のない神社で、狛犬の代わりに狛うさぎがおり、手水舎もうさぎです。

○神田明神（東京都千代田区）：

御祭神は、大己貴命（おおなむちのみこと：大黒様）、少彦名命（すくなひこなのみこと）、平将門命（たいらのまさかどのみこと）。縁結びや商売繁盛のご利益があるとされています。

○光兎（こうさぎ）神社（新潟県岩船郡）：

御祭神は、月読命（つきよみのみこと）と光兎大神。月の兎が降り立った神社といわれ、安全祈願、生命に関することや繁栄・学問などのご利益があるといわれます

○高瀬神社（富山県南砺市）：

御祭神は、大国主命（おおくにぬしのみこと）。福を招いたり、縁結びのご利益が。境内にある「なでうさぎ」は、癒やしたい箇所を撫でると、ご加護があるそうです。

○うさぎ神社（山梨県南都留郡）：

うさぎ神社は民話「かちかち山」の舞台となった場所だとされて、三つ峠の登山者や観光客の安全や健脚を祈願し、うさぎを祀っています。こちらの神社には狛犬ならぬ狛うさぎが2羽おり、夢見兎と富士見兎といいます。眠っているように丸まっている夢見兎の頭を撫でると知恵がいただけ、富士山を見ているように立ち上がっている富士見兎の脚を撫でると健脚を授かるというご利益があるといわれています。

○三輪神社（愛知県名古屋市）：

御祭神は、大物主神（おおものぬしのかみ）。大国主神（おおくにぬしのかみ）と同じ存在です。因幡の白うさぎにちなんで「幸せのなでうさぎ」の石像があります。

○三尾神社（滋賀県大津市）：

御祭神は、伊弉諾尊（いざなぎのみこと）。御家紋がうさぎとなっています。縁結びや安産、子宝に恵まれるというご利益があるそうです。拝殿横には、2羽の「めおと卯」が並び、ほかにも様々な所にうさぎの像があります。

○岡崎神社（京都府京都市）：

御祭神は、速素戔鳴尊（すさのをのみこと）、奇稲田姫命（くしいなだひめのみこと）、そして三女五男八柱御子神（やはしらのみこがみ）。平安京の四方に建立された神社のひとつで、卯の方位である東にあることから東天王とも呼ばれます。子授けや安産、縁結びや厄除けなどのご利益があるといわれています。本殿には招き猫ならぬ招き兎などが配置され、手水舎のうさぎ像は、子授けうさぎとして知られています。

○大神神社（奈良県桜井市）：

御祭神は、大物主大神（おおものぬしのおおかみ）。日本最古の神社といわれている神社です。大物主大神は、三輪山に鎮まったとされ、鳥居を通して山に祈りを捧げる形になります。

○住吉大社（大阪府大阪市）：

御祭神は、底筒男命（そこつつのおのみこと）、中筒男命（なかつつのおのみこと）表筒男命（うわつつのおのみこと）の住吉三神と神功（じんぐう）皇后こと息長足姫命（おきながたらしひめのみこと）の4柱。祓（はらえ）を司し、航海安全のご利益、和歌や産業、弓や相撲などの神様としても知られています。住吉大社は、卯年卯月卯日に祀られたことからうさぎは神の使いとされています。翡翠のなでうさぎの像も有名です。

○白兎神社（鳥取県鳥取市）：

御祭神は、白兎神（はくとかみ・はくとしん）、豊玉比売（とよたまひめ）、保食神（うけもちのかみ）の3柱。

「因幡の白うさぎ」の舞台となった神社。病氣平癒や縁結び、安産や育児、海上安全などのご利益があるとされる。鳥居に入る前からうさぎがいっぱい。いたるところにうさぎをモチーフにしたものが。

○出雲大社（おおやしろ）（島根県出雲市）：

御祭神は、大国主大神（おおくにぬしのおおかみ）。

神々の国と呼ばれる出雲の地に建つ出雲大社。縁結びの神、福の神として名高く、日本最古の歴史書『古事記』にその創建の由縁が記される古社。

大国主大神（おおくにぬしのおおかみ）は大黒様としても日本人に馴染み深く、「因幡の白うさぎ」にも出てきます。

○一葉（ひとつば）稲荷神社（宮崎県宮崎市）：

御祭神は、倉稲魂命（うがのみたまのみこと）。商売繁盛、金運向上のご利益があるとされる。

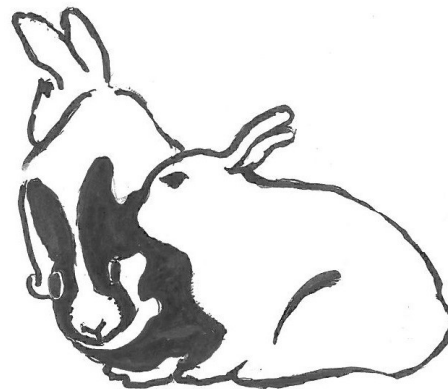
手水舎の横にある銭洗い社も有名。350年ほど前、西海大地震があり、宮崎を中心に大きな被害があったとされ、九州の南東部、宮崎県から太平洋を覗く海辺にある一葉稲荷周辺も被害にありましたが、白いうさぎが津波を蹴り神社を守ったと伝えられます。

【うさぎの出てくる著名な日本美術作品】

○「木賊（とくさ）に兎図」

1786年、作者：円山応挙、
静岡県立美術館蔵

木賊（とくさ）を背景にして三羽の兎が描かれている。三羽それぞれに動きがあり、応挙らしい小動物の写実的作品です。



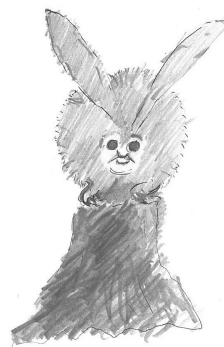
○「雪中松に兎・梅に鴉図屏風」

1774年、江戸時代 作者：葛蛇玉（かつじゃぎょく）、プライスコレクション
闇に浮かぶ松と梅、雪にはしゃぐ兎と闇夜の鴉、そして全面に吹き付ける粉雪。迫力ある作品です。

○「兎図」

作者：徳川家光 個人蔵

徳川家光三代将軍が描いた「へたうまのうさぎ」。
その何とも言えない脱力感が面白い作品です。

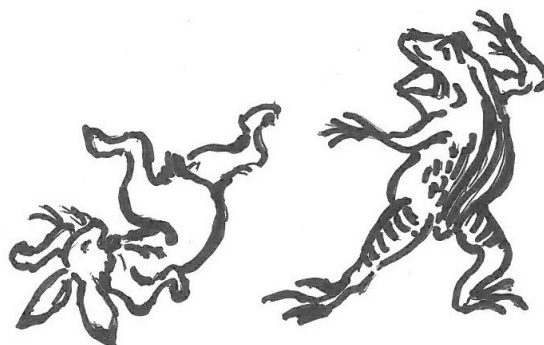


○鳥獣人物戯画

平安・鎌倉時代 国宝、4巻 紙本墨画絵巻物 作者未詳 高山寺（京都）

甲・丙巻/東京国立博物館、乙・丁巻/京都国立博物館寄託

甲乙丙丁4巻からなる絵巻物。甲巻は擬人化された兎、猿、蛙などの動物を描き、乙巻は実在・空想上を合わせた動物図譜となっている。丙巻は前半が人間風俗画、後半が動物戯画、丁巻は勝負事を中心に人物を描く。動物たちの遊戯を躍動感あふれる筆到で描く。「日本最古の漫画」ともいわれる。



【海外文学に登場するうさぎ】

○不思議の国のアリス 作者：ルイス・キャロル（英）1865年出版

物語のはじめに登場する服を着た白うさぎ。彼の後を追って穴に落ちたアリスは不思議の国へ迷い込んでいきます。

ルイス・キャロル。1832年11人きょうだいの長男として生まれ、昨年生誕190周年を迎えました。『不思議の国のアリス』『鏡の国のアリス』と出版し、世界中に多くの読者を持つイギリスの幻想童話作家として知られていますが、作家とは別に写真家、数学者、牧師といった顔も持っていました。

1850年にオックスフォード大学に進学。学寮クライスト・チャーチに在籍し、30年近く大学の仕事を続けました。『不思議の国のアリス』の主人公アリスは、クライスト・チャーチの学寮長：ヘンリーの娘であったアリス・リデルといわれます。

○ピーターラビット 作者：ビアトリクス・ポター（英）1902年出版

ビアトリクス・ポターは、1866年にロンドンの裕福な家庭に生まれました。幼い頃から絵の才能を発揮しました。『ピーターラビットのおはなし』は、1893年、ビアトリクスが病床の元家庭教師の息子ノエル・ムーアを元気づけるために送った絵手紙が原点となっています。このシリーズは世界中で2億5,000万部を超えるロングセラーとして、昨年出版120周年を迎えました。

ビアトリクスが絵本だけでなく「ピーターラビット」に関連する商品も手がけ絵本のキャラクターを商品化するための特許を取得した最初の作家といわれています。彼女の情熱はイギリス湖水地域の景観保護にも向き、著作権関連で得た収入を広大な土地の購入にあて、生涯に渡り自然環境保護に尽くしました。彼女の没後、それらの土地などはナショナル・トラスト（国民環境基金）に寄贈され、今も環境保護に大きな役割を果たしています。

【いなばのしろうさぎ】

出雲の国にだいきくさまという神様がいらっしゃいました。その神様はおおぜいの兄弟があり、その中でもいちばん心のやさしい神様でした。

兄弟の神様たちは因幡の国に八上比売（やかみひめ）という美しい姫がいるという噂を聞き、みんなで会いに行こうと決められました。だいきくさまは兄弟達の家来のように大きな袋を背負われ、一番後からついていくことになりました。

兄弟たちが因幡の国の気多の岬を通りかかったとき、体の皮を剥かれて泣いている一匹のうさぎを見つけました。

兄弟たちはそのうさぎに意地悪をして、海水を浴びて風にあたるとよいと嘘をつきました。

そのうさぎはだまされていることも知らずに、言われるまま海に飛び込み、風当たりのよい丘の上で風に吹かれていました。

そうしていると海水が乾いて傷がもっとひどくヒリヒリ痛みだしました。

前よりも苦しくなって泣いているうさぎのところに、後からついてきただいきくさまが通りかかりました。

だいきくさまはそのうさぎを見てどうして泣いているのかわけを聞きました。

そのうさぎは言いました。

わたしは隠岐の島に住んでいたのですが、一度この国に渡ってみたいと 思って泳がないでわたる方法を考えていました。するとそこにワニ（サメ）がきたので、わたしは彼らを利用しようと考えました。

わたしはワニに自分の仲間とどっちが多いかくらべっこしようと話をもちかけました。

ワニたちは私の言うとおりに背中を並べはじめて、私は数を数えるふりをしながら、向こうの岸まで渡っていきました。

しかし、もう少しというところで私はうまくだませたことが嬉しくなって、つい、だましたことをいってしまいワニを怒らせてしまいました。そのしかえしに私はワニに皮を剥かれてしまったのです。

それから、私が痛くて泣いていると先ほどここを通られた神様たちが、私に海に浸かって風で乾かすとよいとおっしゃったのでしたら前よりもっと痛くなったのです。

だいきくさまはそれを聞いてそのうさぎに言いました。 かわいそうに、すぐに真水で体を洗い、それから蒲（がま）の花を摘んできて、その上に寝転ぶといい。

そういわれたうさぎは今度は川に浸かり、集めた蒲の花のうえに、静かに寝転びました。

そうするとうさぎのからだから毛が生えはじめ、すっかり元のしろうさぎに戻りました。

そのあと、ずい分遅れてだいきくさまは因幡の国につかれましたが、八上比売（やかみひめ）が求められたのは、だいきくさまでした。（出典：出雲大社HP）

この心やさしい神様は、のちに大国主命：オオクニヌシノミコトと呼ばれ、人々に敬われました。

【お月さまに行ったウサギ】

むかしむかし、サルとキツネとウサギが、神さまのところへ行きました。「神さま、どうかお願いです。こんど生まれてくる時は、人間にしてください」すると、神さまが言いました。

「人間に生まれたいのなら、自分の食べ物を人間にごちそうすることだ」

そこでサルは山へ行き、クリやカキの実を取ってきました。キツネは川へ行って、魚を捕まえてきました。ところがウサギの食べ物は、やわらかい草です。今は冬なので、やわらかい草は一本もあ

りません。(こまったなあ。どうしよう?)

ウサギはガッカリして、サルとキツネのいるところへ戻ってきました。「ウサギさん、きみのごちそうはどうしたの?」「だめだよ。草はかれているし、木のめは、まだ出ていないんだ」すると、サルが言いました。「それじゃウサギさんは、いつまでもウサギのままにいるんだな」「そうだよ。ごちそうも持ってこないで人間に生まれかわりたいなんて、ウサギさんはずるいよ」キツネも、怒って言いました。

「ごめん。でも、もう一日だけ待って」

次の日、ウサギは山へ行くと、かれ木をひろい集めてきました。そしてサルとキツネの前に、かれ木をつみあげて言いました。「今からごちそうを焼くから、火をつけておくれ」サルとキツネが火をつけると、かれ木はパッと燃え上がりました。「ぼくのごちそうはないんだ。だから、・・・だから、ぼくを人間に食べさせておくれ」と、言うなり、ウサギは火の中に飛び込んだのです。

その時、空の上から神さまがおりてきて、さっとウサギを抱きかかえると、また空へのぼっていきました。サルもキツネも、ビックリ。すると、神さまが言いました。

「サルもキツネも、きっと人間に生まれかわれるだろう。なにしろ自分の大切な食べ物を、人間にごちそうしようとしたからね。

それは、とても素晴らしい事だよ。でもウサギは、もっと素晴らしい。自分をすててまで、人間に食べさせようとしたのだからね。ウサギをお月さまの国で、いつまでも幸せにしてあげよう」神さまにだきかかえられて、ウサギは空高くのぼっていきました。

その時からウサギは、お月さまの中で楽しく暮らしているという事です。

月のウサギの由来はインドの説教仏話『ジャータカ神話』といわれます。ジャータカ神話は仏陀(ブッダ)の物語を集めて紀元前に作られました。この話が日本に伝わり『今昔物語集』の第5巻13話「三獣行菩薩道兔焼身語」や各地の民話となり、「神様(帝釈天)が老人に変身し、3匹のもとを訪ねるもの」や「帝釈天の神通力でうさぎは死なないもの」まで日本独自の雰囲気から生み出されたバリエーション豊かな作品となっています。

8. 笑門来福、新年にちなんだ落語

【落語・藪入り】

お正月に聞きたくなる古典落語『藪入り』のご紹介です。藪入りとはお正月、お盆休みのことです。あらすじはこうです。

奉公人の一人息子が藪入りで何年かぶりに実家に帰ってきます。

父親は久々の再会が嬉しくて寝付けない。その様子がなんとも微笑ましく面白い。

寝付けない父親は妄想が膨らみます。まだ夜は明けません。

「帰ってきたら、暖かいご飯にお味噌汁。おかずは刺身の中トロ、エビやホタテの天ぷら。お寿司、鰻も良いな。よし、洋食もオムレツ、カツレツ、ビフテキも付けよう」と。

「そうだ、浅草の墓参りに連れて行こう。そして、あそこもここも連れて行くか」と溢れる思いに日本一周するかのような勢いです。

父親「メシ炊け、おっかあ」。

母親「まだ5時だよ。亀吉が帰ってくる頃には冷や飯だよ」と。そうこうしていると亀吉が帰ってきます。父親は久々の対面に緊張して亀吉をまともに見ることも出来ません。

父親「おっかあ、亀吉大きくなったかい?」。母親「馬鹿だね。自分で見なよ」と。

父親は亀吉に銭湯の朝風呂を勧めます。母親が、お風呂に行っている間に亀吉の財布にお小遣いを入れようとした時、その財布の中に 15 円の大金を見つけます。

激怒した父親は「人の物を盗むような奴は自分の息子でもない。出て行け」と帰宅した亀吉に手まで挙げてしまいます。何かと忙しい父親です。

泣き出した亀吉「盗んだんじゃない。ネズミの懸賞で 15 円当たったんだ。お店の旦那様に預かってもらって、藪入りで両親に渡すように言われたんだ」と。

父親「ごめんな、亀吉。疑った父ちゃんが悪かった。ネズミの懸賞で当たったんだ。それをお店の旦那様はわざわざ預かって渡してくれた。これもみんなおまえの忠（チュー）のおかげだな」と下げとなります。一悶着ありますが親子愛がつまった噺です。

※ネズミの懸賞金とは、明治時代に東京市が条例で定めていた、ネズミを一匹 5 銭で買い取り、加えて抽選券を発行して懸賞金が当たる制度のことです。

参考文献・HP

- 出雲大社 <https://izumonooyashiro.or.jp>
- 落語あらすじ辞典『千字寄席』 <https://senjiyose.com>
- 福娘童話集 うさぎのお話 <http://hukumusume.com/douwa/eto/usagi/index.html>
- 「十二支の話題事典」東京堂出版（加藤迪男、1996年）

この資料についてのお問い合わせは・・・

岡三証券株式会社 金融法人部
「干支縁起プロジェクトチーム」
東京都中央区日本橋室町 2-2-1
室町東三井ビルディング
電話 03-3275-8295

重要な注意事項

免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがありますが、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役職員が、本レポートに記載されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ(<https://www.okasan.co.jp/>)をご参照ください。

地域別の開示事項

【日本】

- 金融商品は、個別の金融商品ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なります。金融商品取引のご契約にあたっては、あらかじめ当該契約の「契約締結前交付書面」（もしくは目論見書及びその補完書面）または「上場有価証券等書面」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<有価証券や金銭のお預かりについて>

株式、優先出資証券等を当社の口座へお預けになる場合は、1年間に3,300円（税込み）の口座管理料をいただきます。加えて外国証券をお預けの場合には、1年間に3,300円（税込み）の口座管理料をいただきます。ただし、当社が定める条件を満たした場合は当該口座管理料を無料といたします。

【2023年1月4日以降は、株式、優先出資証券等を当社の口座へお預かりする場合は、口座管理料をいただきません。外国証券（円建て債券および国内の金融商品取引所に上場されている海外ETFを除きます。）をお預かりする場合には、1年間に3,300円（税込み）の口座管理料をいただきます。ただし、電子交付サービスを契約している場合には、口座管理料は1年間に2,640円（税込み）とします。なお、当社が定める条件を満たした場合は外国証券の口座管理料を無料といたします。】

なお、上記以外の有価証券や金銭のお預かりについては料金をいただきません。さらに、証券保管振替機構を通じて他社へ株式等を口座振替する場合には、口座振替する数量に応じて、1銘柄あたり6,600円（税込み）を上限として口座振替手数料をいただきます。

お取引にあたっては「金銭・有価証券の預託、記帳及び振替に関する契約のご説明」の内容を十分にお読みいただき、ご理解いただいたうえでご契約ください。

<株式>

- ・株式（株式・ETF・J-REITなど）の売買取引には、約定代金（単価×数量）に対し、最大1.265%（税込み）（手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円（税込み））の売買手数料をいただきます。ただし、株式累積投資は一律1.265%（税込み）の売買手数料となります。国内株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
 - ・外国株式の海外委託取引には、約定代金に対し、最大1.375%（税込み）の売買手数料をいただきます。外国株式の国内店頭（仕切り）取引では、お客様の購入および売却の単価を当社が提示します。この場合、約定代金に対し、別途の手数料および諸費用はかかりません。
- ※外国証券の外国取引にあたっては、外国金融商品市場等における売買手数料および公租公課その他の賦課金が発生します（外国取引に係る現地諸費用の額は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、その合計金額等をあらかじめ記載することはできません）。外国株式を募集等により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。
- ・株式は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による株価の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・株式は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、株価が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・また、外国株式については、為替相場の変動によって、売却後に円換算した場合の額が下落することによって損失が生じるおそれがあります。

・REITは、運用する不動産の価格や収益力の変動、発行者である投資法人の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により価格や分配金が増減し、損失が生じるおそれがあります。

<債券>

・債券を募集・売出し等により、または当社との相対取引により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

・債券は、金利水準、株式相場、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による債券価格の変動によって損失が生じるおそれがあります。

・債券は、発行体やその他の者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、債券価格が変動することによって損失が発生するおそれがあり、また、元本や利子の支払いの停滞もしくは支払い不能の発生または特約による元本の削減等のおそれがあります。

・金融機関が発行する債券は、信用状況の悪化により本拠所在地国の破綻処理制度が適用され、債権順位に従って元本や利子の削減や株式への転換等が行われる可能性があります。ただし、適用される制度は発行体の本拠所在地国により異なり、また今後変更される可能性があります。

<個人向け国債>

・個人向け国債を募集により購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。個人向け国債を中途換金する際は、次の計算によって算出される中途換金調整額が、売却される額面金額に経過利子を加えた金額より差し引かれます（直前2回分の各利子（税引前）相当額×0.79685）。

・個人向け国債は、安全性の高い金融商品ですが、発行体である日本国政府の信用状況の悪化等により、元本や利子の支払いが滞ったり、支払い不能が生じるおそれがあります。

<転換社債型新株予約権付社債（転換社債）>

国内市場上場転換社債の売買取引には、約定代金に対し、最大1.10%（税込み）（手数料金額が2,750円を下回った場合は2,750円（税込み））の売買手数料をいただきます。転換社債を募集等によりご購入いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。転換社債は転換もしくは新株予約権の行使対象株式の価格下落や金利変動等による転換社債価格の下落により損失が生じるおそれがあります。また、外貨建て転換社債は、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

<投資信託>

・投資信託のお申込みにあたっては、銘柄ごとに設定された費用をご負担いただきます。

お申込時に直接ご負担いただく費用：お申込手数料（お申込金額に対して最大3.85%（税込み））

保有期間中に間接的にご負担いただく費用：信託報酬（信託財産の純資産総額に対して最大年率2.254%（税込み））

換金時に直接ご負担いただく費用：信託財産留保金（換金時に適用される基準価額に対して最大0.5%）

その他の費用：監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等が必要となり、商品ごとに費用は異なります。お客様にご負担いただく費用の総額は、投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、記載することができません（外国投資信託の場合も同様です）。

・投資信託は、国内外の株式や債券等の金融商品に投資する商品ですので、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の変動による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が下落することにより、損失が生じるおそれがあります。

・投資信託は、組入れた有価証券の発行者(或いは、受益証券に対する保証が付いている場合はその保証会社)の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等による、対象組入れ有価証券の価格の変動によって基準価額が増減することにより、損失が生じるおそれがあります。

・上記記載の手数料等の費用の最大値は、今後変更される場合があります。

<信用取引>

信用取引には、約定代金に対し、最大1.265%（税込み）（手数料金額が2,750円を下回った場合は

2,750 円（税込み）の売買手数料、管理費および権利処理手数料をいただきます。また、買付けの場合、買付代金に対する金利を、売付けの場合、売付株券等に対する貸株料および品貸料をいただきます。委託証拠金は、売買代金の 30%以上で、かつ 300 万円以上の額が必要です。信用取引では、委託証拠金の約 3.3 倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動により委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

- 自然災害等不測の事態により金融商品取引市場が取引を行えない場合は売買執行が行えないことがあります。
- 2037 年 12 月までの間、復興特別所得税として、源泉徴収に係る所得税額に対して 2.1%の付加税が課税されます。

岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 53 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

一般社団法人日本暗号資産取引業協会

【香港における本レポートの配布】

本レポートは、香港証券先物委員会（SFC）の監督下にある岡三国際（亜洲）有限公司によって、SFC に規定される適格機関投資家（PI）に配信されたものです。本レポートに関するお問い合わせは岡三国際（亜洲）有限公司にお願いします。

【米国内における本レポートの配布】

本レポートは岡三証券が作成したものであり、1934 年米国証券取引所法に基づく規則 15a-6 に規定される米国主要機関投資家のみ配信されたものです。本レポートは、受領者及びその従業員が使用することを目的として配信しております。

岡三証券は、米国内における登録業者ではないため、米国居住者に対しブローカー業務を行いません。本レポートのアナリストは米国で活動をしていないため、米国のリサーチ・アナリストとして登録されておらず、資格も有していません。したがって、当該アナリストは、米国金融規制機構（FINRA）規則の適用の対象ではありません。

【その他の地域における本レポートの配布】

本レポートは参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意をする必要があります。

地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等をすることが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは、岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

（2022 年 11 月 22 日改訂）